

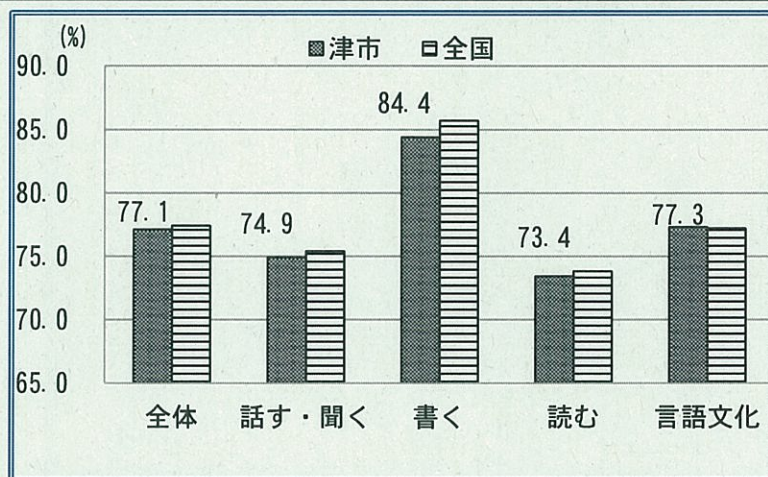
●中学校国語 A「主として知識に関する問題」の調査結果

国語Aの平均正答率について

分類	区分	対象設問数 (問)	均正答率(%)			
			津市	三重県	全国	全国との差
全体		32	77	77	77.4	▲ 0.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	74.9	73.9	75.4	▲ 0.5
	書くこと	4	84.4	84.7	85.7	▲ 1.3
	読むこと	6	73.4	72.8	73.8	▲ 0.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	77.3	77.2	77.2	0.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度					
	話す・聞く能力	4	74.9	73.9	75.4	▲ 0.5
	書く能力	4	84.4	84.7	85.7	▲ 1.3
	読む能力	6	73.4	72.8	73.8	▲ 0.4
	言語についての知識・理解・技能	18	77.3	77.2	77.2	0.1
問題形式	選択式	22	77.7	77.6	78.5	▲ 0.8
	短答式	10	76.1	75.3	75.1	1.0
	記述式					

領域ごとの調査結果については、平均正答率の高い順に「書くこと」が84.4%、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が77.3%、「話すこと・聞くこと」が74.9%、「読むこと」は73.4%の正答率でした。

全国の平均正答率と比較すると、「書くこと」において低い状況が見られます。



話すこと・聞くこと 問題 2 7

必要な情報をもらえるよう、適した発言に直すために当てはまる言葉を10字以内で答える問題は、全国より2.4ポイント低い51.6%の正答率でした。無解答率は0.8ポイント低い4.3%でした。

また、結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する問題の正答率は、全国より1.6ポイント低い78.8%でした。相手に分かりやすいように語句を選択して話すことや、話すための材料を人との交流を通して集めることに課題があります。

一方、スピーチの構成を説明したものとして適切なものを選択する問題の正答率は、全国より1.9ポイント高い81.5%でした。事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話すことを理解していると考えられます。

書くこと 問題

3

5

合唱コンクールに向けてがんばってきた様子が、読み手により伝わるように15字以内に書き直す問題は、全国より0.4ポイント低い85.6%の正答率でした。また、一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する問題は、全国より3.6ポイント低い80.7%でした。書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書くことや、書いた文章についての助言を基に、自分の表現を見直すことに課題があります。

生徒会だよりの〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する問題は、全国より1.7ポイント低い78.1%でした。文章の構成を工夫して分かりやすく書くことに課題があります。

一方、〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する問題は、全国より0.5ポイント高い93.2%の正答率でした。目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめることは、ほぼできていると考えられます。

読むこと 問題

4

6

8

見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する問題は、全国より0.8ポイント低い80.2%の正答率でした。また、文章について説明したものとして適切なものを選択する問題の正答率は、全国より2.2ポイント低い70.7%でした。文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つことに課題があります。

詩について説明したものとして適切なものを選択する問題は、全国より0.5ポイント低い81.4%でした。

一方、登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する問題の正答率は、全国より0.4ポイント高い75.2%でした。文章中の傍線部の意味として適切なものを選択する問題の正答率は、全国より0.5ポイント高い60.6%でした。場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することは全国平均と同等となっています。

伝統的な言語文化や国語の特質に関する事項 問題

1

9

漢字の読み書きでは、「読み」が95.5%、「書き」が75.3%の正答率でした。特に「規模」という漢字を書く問題では、正答率が全国より4.1ポイント高いものの69.9%であり、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があります。（「規」は小学校5年生、「模」は小学校6年生の配当漢字）

また、適切な語句「急がば回れ」を選択する問題の正答率は、全国より6.5ポイント低い54.9%でした。語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題があります。

「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する問題の正答率は、全国より8.5ポイント低い70.0%でした。古典には様々な種類の作品があると知ることには課題があります。

●中学校国語 B「主として活用に関する問題」の調査結果

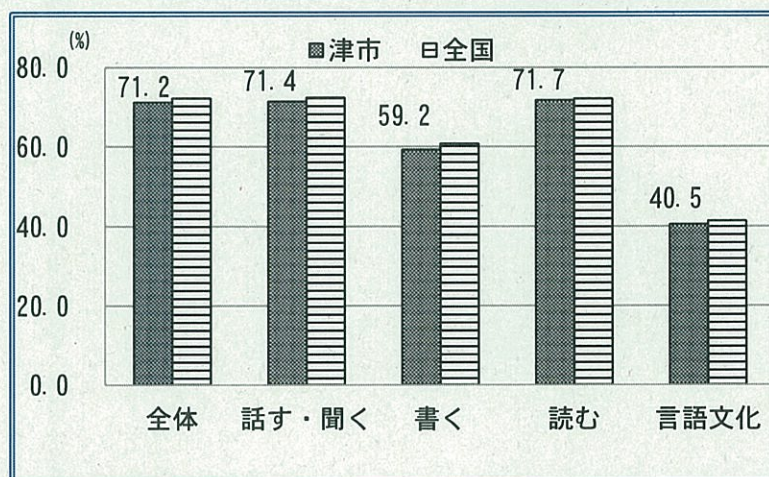
国語Bの平均正答率について

分類	区分	対象設問数	均正答率(%)			
		(問)	津市	三重県	全国	全国との差
全体		9	71	71	72.2	▲ 1.2
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	71.4	71.0	72.4	▲ 1.0
	書くこと	4	59.2	59.0	60.8	▲ 1.6
	読むこと	4	71.7	70.4	72.1	▲ 0.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	40.5	38.2	41.4	▲ 0.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	54.9	54.0	55.9	▲ 1.0
	話す・聞く能力	3	71.4	71.0	72.4	▲ 1.0
	書く能力	4	59.2	59.0	60.8	▲ 1.6
	読む能力	4	71.7	70.4	72.1	▲ 0.4
	言語についての知識・理解・技能	1	40.5	38.2	41.4	▲ 0.9
問題形式	選択式	5	78.2	78.1	79.6	▲ 1.4
	短答式	1	84.9	83.3	84.1	0.8
	記述式	3	54.9	54.0	55.9	▲ 1.0

領域ごとの調査結果について

は、平均正答率の高い順に「読むこと」が71.7%、「話すこと・聞くこと」が71.4%、「書くこと」が59.2%、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が40.5%でした。

大問ごとの調査結果については、「文学的な文章を読む」が69.7%、「スピーチをする」は71.4%、「必要な情報を集める」は72.6%の正答率でした。



文学的な文章を読む 問題 1

本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する問題は全国より 0.4 ポイント低い 83.7%の正答率でした。また、比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く問題の正答率は、全国より 0.9 ポイント低い 40.5%でした。表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことに課題があります。

一方、地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す問題の正答率は、全国より 0.8 ポイント高い 84.9%でした。場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解できていると考えられます。

スピーチをする 問題

2

スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する問題の正答率は、全国より1.6ポイント低い83.8%でした。

聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する問題の正答率は、全国より0.4ポイント低い73.8%でした。

スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて40字以上80字以内で直す問題の正答率は、全国より1.1ポイント低い56.5%でした。相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことを考え、条件に合わせて書くことに課題があります。

必要な情報を集める 問題

3

下書きについての説明として適切なものを選択する問題の正答率は、全国より3.3ポイント低い72.0%でした。集めた材料を整理して文章を構成することに課題があります。

【資料1】と【資料2】を参考に、太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する問題は、全国より0.8ポイント低い77.9%でした。

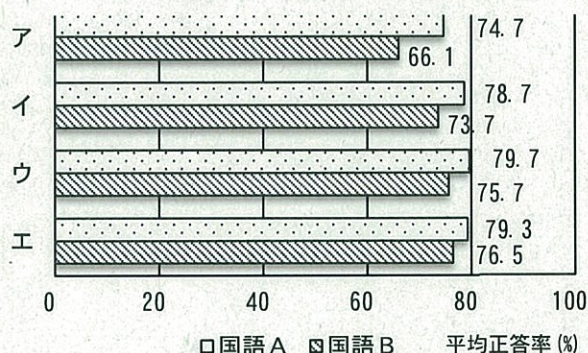
アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を書けることで興味を持ってもらえると考えた理由を書く問題の正答率は、全国より1.0ポイント低い67.8%でした。必要な情報を集めるための見通しを持つことに課題があります。

●中学校国語 「生徒質問紙」から見える国語の学習について

国語の授業に関して「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」という質問に「そう思わない」と回答した生徒は14.1%で、その生徒の国語の問題の正答率は、小学校と同様に国語A(79.3%)、B(76.5%)ともに高くなっています。

しかし、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と解答した生徒が67.2%と、書くことが難しいと感じている生徒が過半数を上回っています。文章の構成を工夫して分かりやすく書く指導を続け、日頃から「書くこと」に慣れ親しませていくことが大切です。

【68】400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか



- ア そう思う (42.0%)
- イ どちらかといえば、そう思う (25.2%)
- ウ どちらかといえば、そう思わない (18.6%)
- エ そう思わない (14.1%)

●中学校国語 学習指導改善のポイント

主に知識に関する調査結果から

➤観点を明確にして交流し、意見や助言を基にして自分の表現を見直す

書いた文章を互いに読み合う時には、文章の構成や材料の活用の仕方など、観点を明確にして交流し、意見を述べたり助言をしたりすることが大切です。

また、自分の書いた文章に対しての意見や助言によって気付かされたり、改めて認識したりしたことを明確にし、自分の表現に役立てようとすることも重要です。

例えば、文章の構成や材料の活用の仕方などについて、読み手に与える効果を考えながら交流する学習活動が考えられます。その時、相手に伝わるような表現になっているか、読み手としてはどのように受け止めることができるかなど、書き手と読み手の両方の立場から検討することが効果的です。

➤相手に分かりやすく伝わるように語句を選択して話す

インタビューや質問などを通して情報を集める時には、自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように語句を選んで話す必要があります。

例えば、相手の反応を踏まえて、伝えたいことが適切に伝わったかどうかについて考え、必要に応じて分かりやすい語句を用いて言い換えたり、複数の尋ね方を試してどれが最も分かりやすいかを検討したりする学習活動が考えられます。

主に活用に関する調査結果から

➤根拠を明確にして感じたことや考えたことを書く

文学的な文章を読んで、感じたことや考えたことを書く時には、なぜそのように感じたのか、文章のどこからそのように考えたのかなどについて、根拠を明確にして書くことが大切です。例えば、文章を読んで心に残った言葉や文、感想などをノートに書き留めておき、それを基にしてペアやグループで交流する学習活動が考えられます。その時、比喻や反復などの表現の技法についての知識を生かすなどこれまでの学習を踏まえるように指導することが重要です。

また、図書館だよりや本のポップ、書評などから得た情報を参考にして、自ら読書を進めていくことができるように指導することも大切です。

➤目的に応じて資料を効果的に活用して話す

スピーチをする時には、自分の伝えたいことが聞き手に分かりやすく伝わるように工夫する必要があります。特に口頭での説明だけでは伝わりにくい内容の場合には、イラストや写真、実物などの資料を用いることが効果的です。また、話題によっては、聞き手の前で実演することも理解を促すためには有効です。

例えば、スピーチを準備している段階で、目的や状況、相手に応じた資料の内容になっているかや、資料を提示するタイミングは効果的であるかなどについて聞き手の立場から検討し、分かりやすく伝わるスピーチにする学習活動が考えられます。

指導に当たっては、平成27年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 1 三に係る授業アイデア例も参考になります。

(参照)

「平成 27 年度【中学校】授業アイデア例」P.5～P.6

➤集めた材料を整理して文章を構成する

目的に応じて集めた材料を分類するなどして整理することは、問題点を見いだしたり、自分の考えをまとめたりするために必要なだけでなく、文章の構成を考える上でも効果的です。書く目的や意図に応じて集めた材料を取捨選択したり、関連を考えて分類したり、時間的な推移や因果関係などに基づいて整理したりすることにより、書こうとする事柄のまとまりや順序が明確になります。その上で、段落の役割などを考えて文章を構成することが大切です。

指導に当たっては、これまでの学習を踏まえた上で、段落の役割などに注意して文章を構成したり、項目を立ててまとめたりする学習活動が考えられます。その時、文章全体を通して伝えたい事柄や意見などが明確になっているかどうかについて確かめることが重要です。